

北川新町政 (10日スタート)のもと 「建設的野党」でがんばります

西澤議員が長町選挙の結果を受け、次のような見解を発表しましたので紹介します。

「町政を変えたい」町民の一步を歓迎

10月25日

投票の町長選挙は「町政一新、町民合意の町政」などを掲げ「ふるさと交流村計画の見直し」を最大の争点として訴えた新人の北川氏が現職の厚い壁を破って当選しました。

交流村計画などを強引にすすめる「山崎町長をとにかくやめさせたい」との町民の思いの総結集が北川町長誕生へと実ったものと考えます。

2009年 町長選挙開票結果・前回比較

| 候補者名 | 今回 | 前回 | 前回比 |
|-------|-----------------|----------------------|-------|
| 北川豊昭氏 | 2,557(51.27%) | 松元氏 1,783 (44.57%) | |
| 山崎義勝氏 | 2,430(48.72%) | 2,217 (55.43%) | + 213 |

投票総数：5,046票 投票率：78.93% 無効投票：59票

ふるさと交流村計画は山崎町政が、町民の意見も聞かないまま、議会の承認なく用地を購入したことから町民の不安が一気に広がりました。私たちは単純に「反対」の立場はとらず、「農業振興」と「地域振興」を本気ですすめるのならば、「ふるさと交流村構想」

ンケート調査を行ない、結果は514通の回答が寄せられ、「紙上討論」とも言うべき町民の活発なご意見が寄せられました。このアンケートに寄せられたみなさんの声が町政を動かす「施設建設」を、現在まで最小限に押しとどめているものと考えます。

今後、「特産品・出荷力が決定的に少ない」との生産力の不足に加え、経

日本共産党の見解を紹介します。

んでしたが、町民の「町政を変えたい」という前向きの一步を歓迎します。甲良町政でも自公政権を退場させた総選挙と共通する結果が起き、「国民・住民が主人公の政治」へ、一步前に進んだのではないかと思えます。新町政の中身の改革はこれからです。

町政で大事な

課題は？

私達は、次に述べる主な項目が重要な課題になると考えています。

1、道の駅・ふるさと交流村計画の根本的な見直しを

济情勢の悪化など不安

はますます

広がっており、当初計

画したレス

トラン、展

示温室、シ

ヤワー室な

どを備えた

7億4千万



雑草におおわれた「拠点施設建設予定地」

でいいのか？甲良町農業の基礎力をつける施策こそ強化する必要があるのではないか？町政の最重要事業というなら全町民の意向調査を実施すべきではないのか？など提起してきました。

山崎町政が意向調査を拒む中、私たち独自でア

【2面につづく】

甲良民報

2009年11月1日 430号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土 463
Tel.Fax38-4949

メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com ホームページ：グーグル「西澤伸明」で検索

円もする「拠点施設」が必要かどうか、「計画」そのものの真剣な再検討が必要で。

さらに通行量など立地条件を科学的に検討すれば、コンビニも進出をためらっている「金屋の現在地でいいのか」という、より根本的な問題を重視する意見も根強くあり、町民的な論議が必要です。

新町政が選挙で公約した「見直し」を実行に移す際には先ず、「拠点施設建設の凍結」を明確にし、町民意向調査を実施することが何よりも重要ではないでしょうか。

2、特定地域を特別扱



いする同和行政は終結を

「同和对策事業」の根拠となった諸法律は特定の地域を特別扱いする法律でした。ですから時限立法とされたのです。この法律が終わったのですから特別扱いはやめるのがあたりまえです。また、地域の中にも格差が広がっています。「誰もが平等

に輝いて生きたい」この願いに応えるためにも行政による「特別扱い」は終結させることが何よりも大切になっていきます。憲法と地方自治法がかかげる「平等」の精神に基づいて、地域にかかわりなく、町民のくらし・雇用・営業・農業・子育てなど緊急で充実した支援が求められています。

宅地分譲事業での広大な残地の早期処分、改良住宅の払下げ促進、住宅新築資金の滞納など重要な課題も残っています。

3、貧困と格差を広げた「構造改革」政治を続けるか、

町民のくらし・福祉重視に切りかえるか

「ささやかでも安心してくらしたい」これは私達が行ったアンケートに寄せられた町民の声です。一番身近で直接関わる町政は何を最も大事にする必要があるのか？核心をついた声だと思いました。

先の総選挙で示された国民の審判は、新しい政治の中身を求め始めた表われでもあると考えます。失業率が最悪の記録を更新し、内閣府の世論調査でも「将来のくらしに不安」が69%も占めています。また農業、中小工商・建設業も深刻な状況です。町行政は、この分野にこそ可能な限りの応援を強

化する必要があるのではないのでしょうか。

4、清潔で、真に「町民が主人公」の町政を、不正や利権をなくし、入札制度を公平で民主的な制度に改善し、大事なことはみんなで決めるルールをつくるなど、「町民が主人公の町政」は誰もが願っています。

みなさんと共 同じ「建設的 野党」として

圧倒的多数の町民が願っているのは「あたりまえで公平な町政」ではないでしょうか。

町政は、町長に白紙委任をわたすものでもなければ、一部の人たちのものでもありません。町民のひとりひとりが、それぞれの願いを、町政にドンドンと届けることが大切です。それでこそ「町民こそ主人公」といえるのではないのでしょうか。

私たち日本共産党は、甲良町政の山積する課題に取り組みながら、いいものには賛成し積極的な提案も行い、悪政には反対を貫き、問題点は町民的論議をつくして正すという「建設的野党」の立場で、みなさんの願いが実現できるよう、議会の内外でがんばる決意です。

引き続き町政・議会の様子をお知らせし、みなさんとごいっしょに住みよい町を考えてまいります。



みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

「失業者支援村」開催のお知らせ・支援物資ご協力をお願い

11月14日(土)11時~15時 草津駅東口 2階デッキ公園広場

各種生活・健康・労働相談=弁護士、医師、労働組合など専門家が相談に応じます(無料・秘密厳守) 食事提供(数に限りあり) 米、洗剤など生活支援物資の配布 ○主催: 県労連(077-521-2536 Fax077-521-2534) 募金送付先: 滋賀県労働組合総連合会 滋賀銀行県庁支店・口座番号 486764 支援物資・次の限定品(お米、醤油などの調味料、缶詰、レトルト食品、シャンプー、石鹸、毛布・タオル=新品、テレホンカード、携帯カイロ、ストーブ、炊飯器=中古で可)・取次: 西澤 Tel・Fax38 4949